

中部EMCシンポジウムレポート

開催日：2018年5月19日（土）

場 所：名古屋YMCA 5Fチャペル

参加者：2017-2018 中部 山内中部部長（金沢）、西中部書記（金沢）、伊藤中部会計（金沢）、数澤事務局長（金沢）、数澤淑子（ネット主査）
クラブ会長 谷川修（名古屋）、長谷川和宏（東海）、塚本浩巳（四日市）、下村明子（グランパス）、北肇夫（金沢犀川）
2018-2019 中部 柴田次期部長（東海）、八木次期書記（東海）、浅野次期会計（東海）、橋爪事務局長（東海）
次期クラブ会長 池野輝昭（東海）、荒川恭次（グランパス）、北肇夫（金沢犀川）
一般参加 清水 淳（金沢）、川口 恵（名古屋）、河部 薫（名古屋）、杉山弘時（南山）、小林滋記（南山）、大島孝三郎（東海）早川政人（グランパス）
西日本区 三科EMC事業主任

○シンポジウムは谷川EMC主査代行の司会により進められた。



1. 三科EMC事業主任による基調講演

パワーポイントにより西日本区の現況および京都部の特色について説明があった、また、YMCAリーダーの意識内でのワイズの存在、ワイズメンズクラブでのクリスチャニティーの扱いについての課題等、会員増に向けての取組むべき課題の提起があった。

2. 新生ワイズ起し運動のDVD視聴

ワイズ将来構想特別委員会制作のDVDを視聴し、荒川委員が「中部の現状資料」により補足説明した。

3. 中部各クラブのMCに関する現状と活動状況について

各クラブ共通の課題は高齢化である。今後の10年の間に改善されないと消滅するクラブが必ず出る。また現在10名以下クラブ（南山、金沢犀川、津）は会員増の意欲はあるが手だてが無い。今後はクラブ統合をも視野に入れて検討を行う必要がある。

4. 富山クラブ（仮称）のエクステンションについて

富山YMCAのサポートを目的に設立準備が進められている新クラブ設立の状況について、清水準備委員より説明がされた。当初予定では6月チャーターを目指していたが、準備の遅れによりチャーターは来期中としたい。

5. 新生ワイズ起し運動の中部実働委員の確認

ワイズ起し運動における中部の実働委員は下記のとおりとして確認された。従前の200チームとは違い、会員増を強調せずクラブの内容充実向上を目指して活動展開する。具体的活動の進め方の検討については次回からとする。

各クラブ実働委員名

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 金沢クラブ：山内ミハル | 5. 四日市クラブ：塚本浩巳 |
| 2. 名古屋クラブ：谷川 修、河部 薫 | 6. グランパスクラブ：三井秀和、荒川恭次 |
| 3. 東海クラブ：池野輝昭、柴田洋次郎 | 7. 金沢犀川クラブ：澤瀬 諭 |
| 4. 南山クラブ：杉山弘時 | 8. 津クラブ：薦田正男 |

※評議会終了後、九州部新クラブ設立総会に向け Skype により映像通信でエールを送った。

以 上